森林って何だろう？

～森林を守るには～

作：サルスバーグ
文那

『やあみんな！森林は好きかい？ぼくは神様。森林が大好きなみんなの大せんぱいだよ。さて、森林が大好きなみんなは森林の事についてどこまで知っているかな？』『森林はきれい』と人間がとつ然わり込んできました。『たしかに森林はきれいだけど、それだけじゃないよ』神様は言い返しました。『じゃあ森林の事についてみんなにぼくが教えてあげよう。』

神様がパンと手をたたくといきなり広い森林がでてきました。緑、オレンジ、茶色。たくさんの色がありました。『この美しいのが天然林。空気をきれいにしてくれたり、動物のすみかになったりしてくれるんだ。』『へえ～』人間たちはうなずきました。『でも、どうやって空気をきれいにしてくれるの？』『それはね、二酸化炭素というガスをすい込み、酸素をはき出してくれるんだ。』『なるほど』

神様がもう一度パンと手をたたくと次は比較的色の少ない緑の森ができました。

『あれ、色があざやかじゃない』

人間たちが言うと、

『ここは人工林。天然林の木を切って人の手で植えられた木なんだ。』

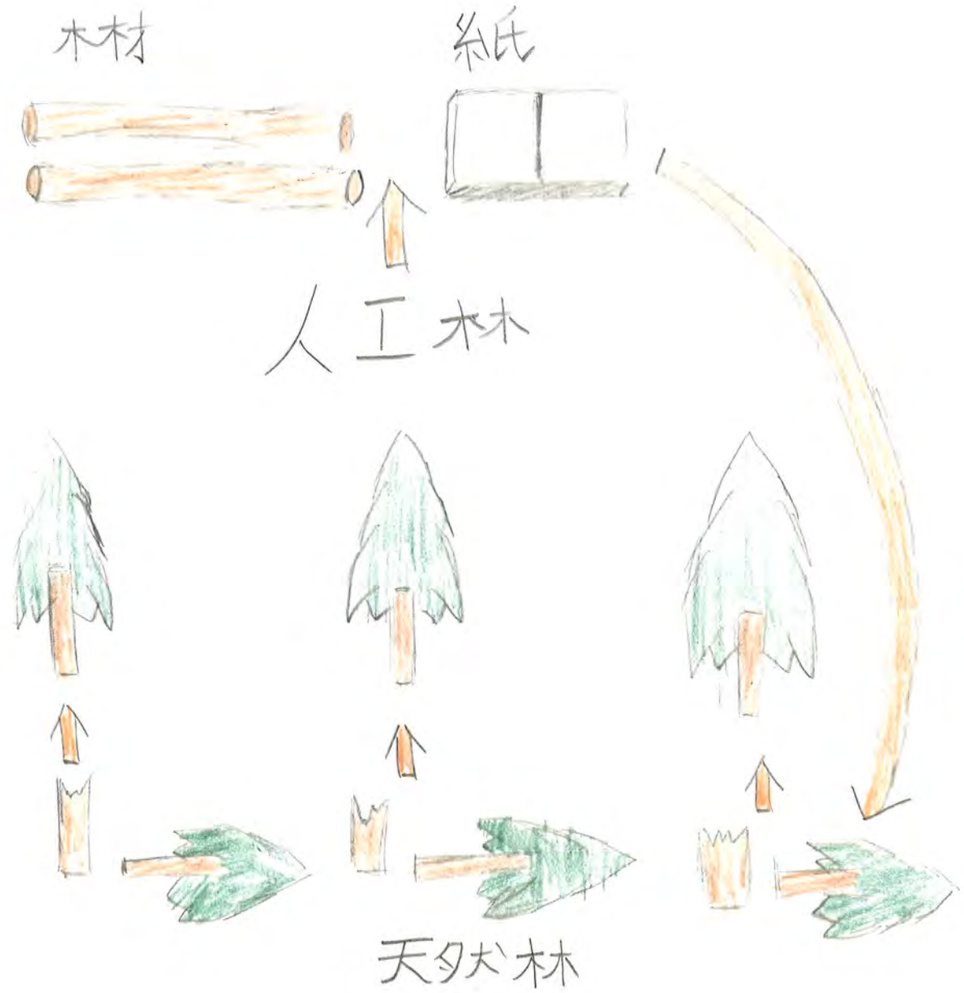
と神様は説明して、さらに続けました。

『今、天然林を切って人工林に木直えかえてその木を切って木材や紙にするという事がくり返されているんだ。それしは良いけどもと必要なせいで天然林がどんどん無くなっていくんだ。』

『でもぼくたちだって好きで切っているわけじゃない』

人間たちはぬずちしく反論しました。

『たしかにそうなんだよ。でも天然林が切られていくせいで動物が死んだり、地球温だん化が進んだりしているんだ。』



『そうなんだ。じゃあちゃんと解決策を考えなきゃいけないんだな。』

人間たちも今度はなっとくしてしっかりと考えました。しかし策はうかびませんでした。

『でも人はここで対策を練ってきたんだよ。』

神林様が急に口を開くと人間たちもびっくりしました。

『人工林をできるだけ少ない土地でたくさん生産できるように一年ごとにちがう所で植えてちがう所で切るというのをくり返しているんだ。』

『よ、それならイケるぞ！』

人間たちは大喜びしました。

『いや、でもそれでも多くの国ではまだどんどん天然林を切っている。』

『ええ～！でもそれってい法なんじゃないの？』

『うん。でも生きるためだったりお金をかせぐために木を切る人もいるんだ。』

『そっか。なんとかならないかな～。ぼくたちにできることはないの？』

人間たちは困った顔で神様のほうを見ていました。

『もちろんあるさ。実はみんなと同じ考えをもった人たちがFSCという国際機関にいるんだ。ここではかん境や社会に配りょして森林が管理されているかをチェックするんだ。にん証されるとそこの森林の木でできた木材にFSCのロゴマークがつくんだ。つまりFSCのマークがついた物をできるだけ買えばみんなも森林のためになっているんだ。』

『へえ～じゃあみんなでFSCの物を買えばぼくらみんな地球を助けているんだね。』

『簡単に言えばそういうことだね。』

人間たちは大喜びしました。やっと角彫夫への糸口が見えたのです。

そこへ神様がくぎをさすように言いました。

『でも現実的にはやっぱり夫然、木は切られ続けているんだ。』

『でもできるだけ長くけい続していけば森は守れるんじゃないの?』

『まあそうかもしれないけどそれ以前にもっと森林保護の意しきを高めないといけないんじゃないの?』

神様の提案には人間たちもうなずくしかありませんでした。

『意しきを高めるにはどうすればいいの?』

『むずかしいけどやっぱり森林護をうったえ続けることじゃない?』

『そうだね。じゃあ森林の大切さをみんなに伝えてぼくらが森林を守るよ!』

人間たちはそうちかい、神様に向かってかすかにうなずいてみせました。

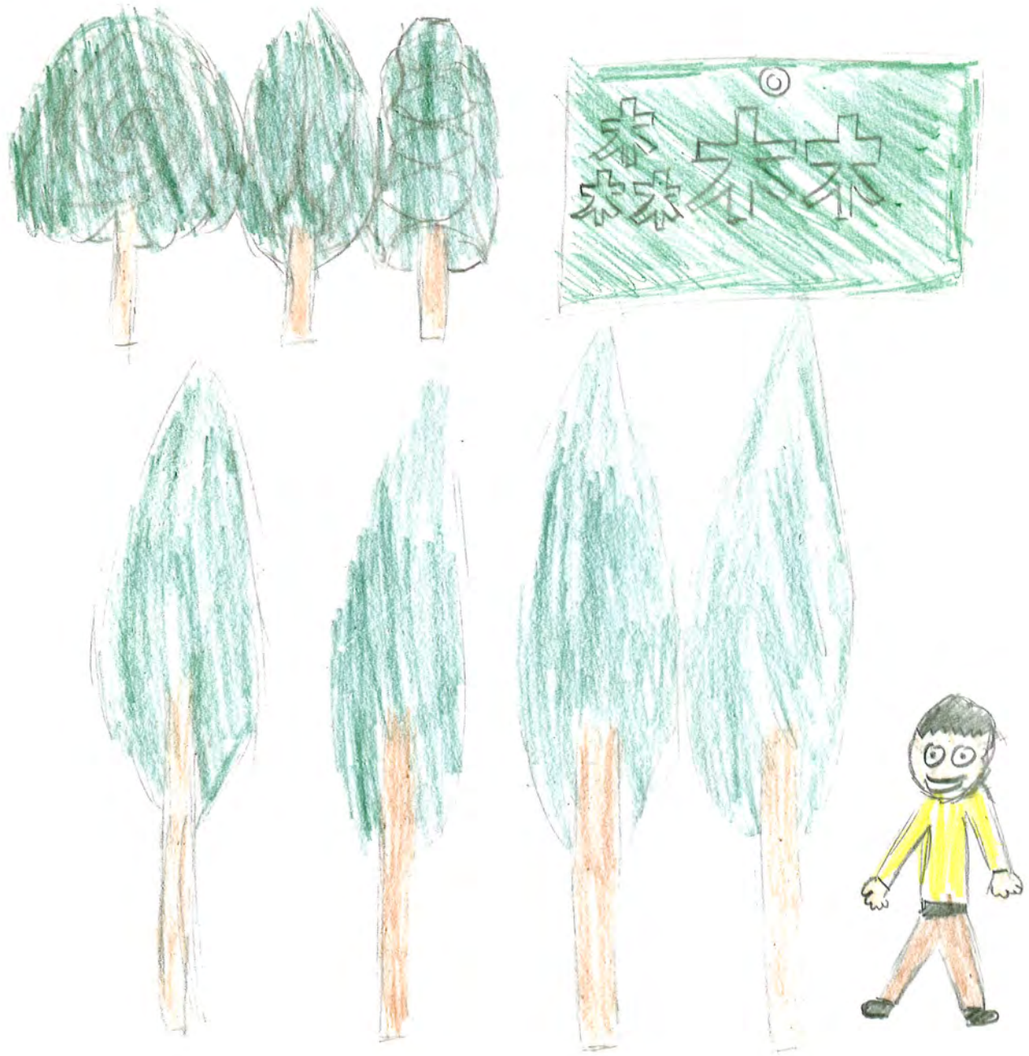
『じゃあがんばってね。』

神様はそう言い残しパンと手をたたきました。するとまた元の場所にもどっていました。しかし、そこに神様のすがたはありませんでした。

『じゃあね神様。』

人間たちは大声でさけびました。しかし返事はありませんでした。けれども、神様がずっと見守っていると人間たちは思いました。

『森林はぼくらが守る。』



最後まで読んでくれてありがとう！

この絵本は、2017 年に行った「ＷＷＦジャパン森林絵本コンテスト」で、優秀作に選ばれた作品を本にしたものです。

いま、豊かな森が減り、野生の生きものたちの数も少なくなっています。世界の環境を守る「ＷＷＦジャパン」では、森にすむ生きものたちに、いまどんな問題が起きていて、どうすれば良いのかを学んだ小学生の皆さんから「絵本」を募集しました。小学生の皆さんが、授業で、森や自然、野生動物について学んだことや気づいたことを「絵本」にして家族やお友達に知らせようと、一生けんめい工夫して物語を作ってくれたのです。

みなさんは、この絵本を読んでどう思いましたか？　感想を、ぜひ家族や周りのお友達と話し合ってみてください。森や、そこにすむ生きものを守りながら暮らすにはどうすれば良いか考える人がたくさん増えることが、森や動物を守ることにつながるからです。

私たちにできることのヒント「FSC®」マーク

私たちが使う紙は、森の木から作られています。むやみに木を切ってしまえば、動物たちのすむ場所もなくなってしまうかもしれません。「FSC®」は、森の生きものや、周りに暮らしたり働いている人のことを考えて、きちんと管理された森や、そこから生まれた紙につけられるマークです。動物たちの暮らしにできるだけ負担をかけないように森を使うようにしているので、FSC マークがついたノートなどを使うことは「森を守りながら使う」ことにつながります。ぜひ、このマークを覚えてください。

FSC
www.fsc.org
FSC® N002174
責任ある森林管理のマーク

©1986 Panda symbol WWF　® "WWF" is a WWF Registered Trademark

WWF って？

ＷＷＦは、100 カ国以上で活動している地球環境保全団体です。1961 年にスイスで設立されました。地球上の生物多様性の保全と、人の暮らしが自然環境や野生生物に与えている負荷の軽減を柱として活動しています。

現在、特に力を注いでいるのは、森や海などの生態系を保全すること、木材や魚介類など、自然資源の利用を持続可能なものにすること、地球温暖化を防ぐこと。ＷＷＦのサポーターになることは、今すぐ、誰もが始められる環境保全です。人と自然が調和して生きられる未来を築くために、ぜひあなたの力を貸してください。

WWF ジャパン（世界自然保護基金ジャパン）
http://www.wwf.or.jp
東京都港区芝 3-1-14-6Ｆ
TEL: 03-3769-1241（平日 10:00 ～ 17:00）　Email:hello@wwf.or.jp

「ＷＷＦジャパン森林絵本コンテスト」2017 実施概要

参加校
青山学院初等部
Okinawa AMICUS International
British School In Tokyo
Canadian Academy
Makuhari International School
New International School
Nishimachi International School

主催　ＷＷＦジャパン
協賛　王子ホールディングス株式会社
監修　堀井清毅　教諭
（Nishimachi International School）

「WWFジャパン森林絵本コンテスト 2017」受賞作品

この絵本は、王子ホールディングス株式会社のご支援により制作されました。

用紙提供：王子エフテックス株式会社

用紙名：OKミューズガリバーグロスハイホワイト 157 g/㎡

印刷協力：文化堂印刷株式会社

OJI
Beyond the Boundaries

FSC
www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C002724